

ブルンジ月報（2023年1月）

1. 内政・外政

- 2日、ブルンジのジャーナリスト、イランガビエ女史が「国家領土の完全性を損なった」罪で有罪判決となり、10年の禁固刑と100万ブルンジ・フランの罰金を言い渡された。(SOS Media)
- 3日、ナイジェリアのブハリ大統領は、ブルンジ政府からのエネルギー、特に燃料の提供要請を検討すると述べた。(Punch)
- 12日、保健省は昨年12月からブジュンブラで確認されたコレラ感染が他地域にも拡大、現在66人が感染と発表。(SOS Media)
- 17日、出版社、編集者、ジャーナリストの世界的ネットワークである国際プレス協会（IPI）は、ブルンジ当局に対し、今月初めに10年の実刑判決を受けたルワンダ在住のジャーナリスト、イランガビエ氏を釈放し、彼女に対する告訴を取り下げるよう再度要求。(IPI)
- 22日、北西部チビトケ県のブキナヤナコミューンにてCovid-19の症例が少なくとも117件報告されている。(SOS Media)
- 23日、西部ブバンザ西部の中央刑務所で、140人以上の囚人がCovid-19陽性となった。(SOS Media)
- 26日、ンディラコブカ首相は、指導者たちに、年齢、民族、政党の違いにかかわらず、差別することなく、すべてのブルンジ国民に平等に奉仕し、保護するよう求めた。(Region Week)

2. 開発協力

- 25日、ルワンダのマハマキャンプでは、ブルンジ難民1000人以上が通常毎月受給するべき配給を3か月間受けていない。(SOS Media)
- 27日、歳入庁（OBR）は、携帯電話会社Econet Wireless Burundiの口座を差し押さえたため、同社の送金システム「エコキャッシュ」利用不可となった。(SOS Media)
- 27日、アフリカ開発銀行が農業部門を支援するために2,100万ドルを供与。(SOS Media)

3. 経済

- 5日、ブルンジへの全渡航者に対するCovid-19検査が不要となったことを保健省が発表。(SOS Media)
- 23日、チビトケ県にある17の金採掘協同組合が、合意に反し四半期ごとに1kgの金を政府に提供しないため、停止させられた。(SOS Media)

- 31日、大蔵省と商務省が、国内で営業するホテルは、宿泊する外国人に外貨で請求書を発行しなければならないことを決定。さらに、すべてのホテルはブルンジ移住局のデジタルプラットフォームに登録する必要があるとした。(Iwacu)

以上